



はがきでペン優秀作品

佳作以上に「書作名人筆」さしあげます

審査担当 金子榮風先生

お月さまの中にう
さぎがいるお話、
面白かったです。読
んでみてね。
三年 野田 結香

小3 野田 結香

大きくうでを動かして書き、りっぱな文字だ。

この頃小さい妹が熱心
に月を見ていて、兎を
探していると言うんだ
よ。かわいいなと思っ
てしまったよ。
中二 小島 ゆりか

中2 小島 ゆりか

線に迷いがなく、すっきりとした字が美しい。

ほん
ようねんあざやまざら

秋山紗良 幼年 2級

たのしくもつとかきたい、というきもちがつたわってくる。おおきくうでをうごかしてさいごまでふといせんでかけた。

ほん
ねんすずきさくら

鈴木さくら 小1 5級

字の正しいかたちをきちんとわかっていて、まるくするとところやさいごのハライが上手です。すなおなせんがすばらしい。

ふせん
せふ
んう
二年 高井六花

高井六花 小2 1級

きよく線でなめらかに筆がうごき、次の字へのつながりが見える。四文字のバランスもよくきれいにまとまった。

火山
三年 一葦

荒金一葦 小3 8級

始まりがしっかりと止まっているので強い線で書けた。ここまですべて決めた所まで一気に書く思い切りのよさがとくにいい。

王子
やき
四年 大原あずみ

大原あずみ 小4 2級

紙面いっぱいにおいしさが広がるような「王子やき」。大きく書く中でも細かい筆づかいが出来る、字形もきれいに整った。

見学
五年 翠千瑛

翠千瑛 小5 準3

書はリズムが大切、ということを感じる作品。一本の線、一文字を良いリズムで書き進めるので字の表情が豊かになった。

秋の
山野
六年 果奈実

林果奈実 小6 準初

線の太細の使い分けが見事で、全体の調和がとれた美しい作品。筆を高い所から下ろし高く引き上げる技術が出来ている。

航海
中一準三 三浦明季

三浦明季 中1 準3

二文字ともバランスを取るのが難しい課題だが、点画の位置と長さを正しく捉え、強く鋭い線を効果的に使って書き切った。

針葉
樹林
中二 緒川彩子

緒川彩子 中2 準5

画数の少ない文字に太い線を用いることで全体を上手くまとめている。次の画への繋がりを大切に力強さも表現出来た。

針葉
樹林
中三 堀井優那

堀井優那 中3 準5

素直な心から生まれる澄んだ線で流れに乗って書かれた文字は全て美しい。線の長さ、太さ、角度に細かい配慮が見える。

九月十五日締め切り

最優秀作品

金子高遠選評

